

## 2. 春日神社・五百住神社・・・高槻市桜ヶ丘南町19-13

素盞鳴尊神社 通称名：八坂神社 高槻市桜ヶ丘南町19-13

創建は不詳だが、日本書紀の安閑天皇御宇（531年）に村名の起源があるので、当時から地元村民に篤く崇敬されてきたと思われる。

境内には天児屋根命を祀る春日神社、素戔男尊を祀る八坂神社の2つの神社があり、地元では一般的にそれぞれの神社名「春日神社」または「八坂神社」で呼ばれています。



当時より村民の氏神として厚く崇敬されたと思われる由緒ある神社です。

神体が春日、八坂の二対あるため拝殿の裏に本殿が2つあります。

おそらく、古くは「素盞鳴尊」を祀る一族の領地だったものを藤原氏（中臣氏）が後に領地にしたのでしょう。

境内は檜木をはじめ木々で覆われ、鳥の囀り声が絶えません。

秋から初冬に敷地一帯は、ドングリなどの木の実で敷き詰められる。

### ※1：村社 春日神社

本地は古来島上郡に属し、もと濃味郷の内にして五位荘に属し、西五百住村と称す。

春日神社は字宮西にあり、天児屋根命を祀れり。

由緒は詳ならず。明治5年村社に列せらる。

境内は334坪を有し、本殿・拝殿を称す。氏地は本地一円にして、祭日は5月8日なり。・・・大阪府神社史資料より

### ※2：村社 素盞鳴尊神社

素盞鳴尊を祀れり。由緒は詳ならず。明治5年村社に列せらる。

境内は735坪を有し本殿・拝殿を存す。氏地は本地一円にして、祭日は5月8日なり。・・・大阪府神社史資料より

